

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年03月25日

計画の名称	大宜味村宅地耐震化推進事業（防災・安全）														
計画の期間	令和05年度 ～ 令和05年度（1年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	大宜味村														
計画の目標	大地震時等による被害を未然に防ぐため、大規模盛土造成地の変動予測調査等を実施し、市街地の防災性の向上を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		15	A	15	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5		R5
1	大規模盛土造成地の変動予測調査等を実施する。			
	大規模盛土造成地の変動予測調査・優先度評価の実施 事業の実施率＝調査完了箇所数／調査箇所数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	大宜味村	直接	大宜味村	－	－	大規模盛土造成地の変動 予測調査 津波地区	変動予測調査	大宜味村	■					15		－
											小計						15		
											合計						15		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大規模盛土造成地変動予測調査業務の目的を達成できるように、調査方法等を管理技術者や関係機関等と協議し調査を実施した。	令和5年9月29日～令和6年3月1日
	公表の方法
	大宜味村ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングにて湧き水等の確認はされなかったが、「新たな考え方」に基づき経過観察に区分されていたため、当該事業を行うことで地盤の安全性の確認を行った。調査方法として主にボーリング（3箇所）、標準貫入試験、地下水観測を実施した。調査結果に基づき安定計算を実施した結果当該盛土造成地において「滑動滑落の恐れがない」と評価された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

安全性は確認されたが、一部盛土下の不安定な土層の存在、擁壁目地の開き等が確認された箇所があるため、当該箇所については定期的な監視を継続的に実施する。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	